

徳 島 県

埋蔵文化財センター年報

Vol. 19 2007年度

2008

財団法人 徳島県埋蔵文化財センター



南蔵本遺跡 弥生時代前期飾り弓出土状況



名東遺跡 弥生時代中期前半の円形周溝墓

はじめに

本書は、平成19年度に財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものです。

当年度は、大規模な出土資料整理のため10年間設置していた整理作業棟の最終年度となり、次年度から組織規模の縮小が予想されることから徳島県立埋蔵文化財総合センターに全ての資料を収納するために、計画的な配置・再整理を事業と並行して行いました。

一方、発掘調査、出土資料整理、普及事業について、同様に県教委からの委託により実施し、大きな成果をあげています。

発掘調査事業は、前年度に引き続き5つの調査班体制で、8遺跡の発掘調査と5遺跡で試掘調査を実施しました。そのうち徳島市の南蔵本遺跡の調査では弥生時代前期の分水堰や飾り弓が出土し、徳島の弥生時代の幕開けを考える上で重要な成果がありました。ほかにも徳島市名東遺跡では、弥生時代中期前半の円形周溝墓が発見され、墓制の展開を考える上で又新しい資料が加わるなど注目すべき成果がありました。

出土資料整理事業は、徳島市観音寺遺跡など12遺跡の整理事業を実施し、報告書作成に向けて作業と分析を進めてまいりました。

普及事業は、徳島県教育委員会が史跡整備や埋蔵文化財情報の総合的活用を図る「いにしえ夢街道推進事業」の関連行事や、速報展においても、これまでの経験を活かしながら、新たな視点で体験活動や情報発信に努めてきました。

県立埋蔵文化財総合センターの指定管理者としても、5つの自主企画展を実施し、特に徳島県内で平成19年度秋に行われた国民文化祭のうち吉野川文化探訪フェスティバル事業の会場として、特別企画展や古代体験まつりを実施するなど、県民の文化的要請に応える事業を行ってまいりました。

本書を通じて、当センターの活動を知っていただくとともに、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
理事長 福家清司

目 次

I	財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要	4
II	平成19年度事業概要	6
III	調査事業報告	11
	県事業関連発掘調査	
	南蔵本遺跡	14
	徳島城下町跡安宅2丁目地点 南庄遺跡	15
	名東遺跡 拝原東遺跡	16
	観音寺遺跡 大幸遺跡他試掘調査	17
	国事業等関連発掘調査	
	下中筋遺跡 延命遺跡	18
	川北遺跡他試掘調査 姫田遺跡	19
IV	整理事業報告	20
V	埋蔵文化財センターの活動	21
1	阿波歴史体感ネットワーク「いにしえ夢街道」推進事業	21
2	埋蔵文化財総合活用事業	23
3	収蔵庫資料整理等業務	24
4	徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務	28
5	発掘現場における普及啓発活動	30
6	職員の対外活動	31
7	ホームページ	32
8	受贈図書数	32
9	本年度刊行物	32

例 言

- 1 本書は財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成19年度事業をまとめた年報である。
- 2 III 調査事業報告に関する地形図は国土地理院発行1/50,000地形図を転載したものであり、各図に図幅名を記した。
- 3 III 調査事業報告の概要は各担当が執筆し、その責を文末に記した。

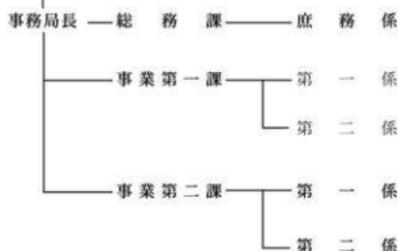
平成 19 年度 財団法人 徳島県埋蔵文化財センターの組織

役員

理事長	
佐藤 勉	県教育委員会教育長
副理事長	
岡田 一郎	海陽町立博物館長
専務理事	
伊川 政文	
常務理事	
多田 升二	県教育委員会局付
理事	
和田 萃	前京都教育大学教授
石田 啓祐	徳島大学教授
佐々木清克	徳島文理大学准教授
吉田 一紀	専門学校穴吹カレッジ校長
立石 恵嗣	前県立文書館長
下川 清	県教育委員会文化財課長
監事	
乾 和雄	県出納局長
吉田 晋一	県教育委員会生涯学習政策課長

理事会

所長



職員

所長 (専務理事兼務)	伊川 政文
事務局長 (常務理事兼務)	多田 升二

総務課

次長兼総務課長	一宮 一郎
主査兼庶務係長	新居 謙輔
事務主任	浦川 明美
事務主任	野田登記子
経理嘱託員	清水 恵美
臨時補助員	河野 絵美
	森下 郁恵

岡山真弓 (~ 6/5) 鳥庭康代 (7/1 ~)

事業第一課

事業第一課長	湯浅 利彦
第一係長	藤川 智之
主任研究員	原 芳伸 栗林 誠治
	近藤 玲 大橋 育順
	大北 和美
研究員	森 直樹 入江 正幸
	松家 義人 川口 徹
	西條 治
研究補助員	谷川 真基
	塩治 琢磨 (6/1 ~)
第二係長	氏家 敏之
研究員	中川 崇 幸泉 哲也
	山上 孝好 澤井 康博
	服部 靖

事業第二課

次長兼事業第二課長	島巡 賢二
研究主査	久保脇美朗
主査兼第一係長	豊田大之介
主任研究員	田川 憲 植地 岳彦
研究員	中西 康 宮田 嘉彦
	坂賀 正彦 片山 純州
	井内 哲也 早淵 隆人
	島田 豊彰
研究補助員	園木 裕美
主査兼第二係長	三木 弘幸
臨時補助員	松田 初美 松浦 千恵

I 財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要

1 設立の目的

徳島県内における埋蔵文化財（出土した文化財を含む。）の調査，研究を行うとともに，文化財の保護意識の啓発普及を図り，地域文化の振興に寄与することを目的とする。

2 設立年月日

平成元年4月1日（徳島県教育委員会指令教文第71号で設立許可）

3 事業内容

- (1) 埋蔵文化財の調査，研究
- (2) 出土した文化財の整理，保存
- (3) 埋蔵文化財の活用
- (4) 保護意識の啓発普及
- (5) 埋蔵文化財調査技術の指導等
- (6) 埋蔵文化財の資料収集，整理保存，報告書の刊行
- (7) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務
- (8) その他

4 資産及び会計

- | | |
|----------|--------------------------------|
| (1) 資産構成 | 財団設立当初の財産，寄付金品，事業収入，資産収入，その他収入 |
| (2) 資産種別 | 基本財産，運用財産 |
| (3) 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| (4) 基本財産 | 10,000,000円 |
| (5) 決算額 | 879,407,900円（平成19年度事業収入） |

5 役員（平成19年4月1日現在）

- | | |
|------------|---|
| (1) 理事 10名 | （定数は13名以内，うち理事長1名，副理事長1名，専務理事1名，常務理事1名） |
| (2) 監事 2名 | |
| (3) 任期 2年 | （平成19年4月1日から平成21年3月31日まで） |
| (4) 理事会 | |
| 機能 | 法人の業務に関する重要な事項を議決し，執行する。 |
| 開催 | 通常理事会（年2回開催），臨時理事会 |

6 施設

- | | |
|---------------------|--|
| (1) 徳島県立埋蔵文化財総合センター | |
| ①所在地 | 徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番2 |
| ②敷地面積 | 16,093㎡ |
| ③建物 | 鉄筋コンクリート造2階建（一部鉄骨造）建築面積2,554.05㎡，事務室，
研究員室，展示室，図書資料室，情報処理室，分析室，収蔵庫，機材保管室，
整理復元室，写真撮影室，木器，鉄器処理室など |
| ④総事業費 | 2,164,000,000円 |

(2) 整理作業棟

- ①所在地 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷6番16
②敷地面積 4,133㎡（板野町有地を借上げ）
③建物 軽量鉄骨ブレース造平屋建2棟 1,105.63㎡
整理作業室、復元室、トレース室、保管庫など
④賃借料 15,856,000円（年額）

7 事務局職員（平成19年7月1日現在） 合計 140名

(1) 常勤職員 46名

- 内訳 派遣教職員 25名（うち社会教育主事16名）
財団職員 21名（所長1名、研究補助員3名、経理嘱託員1名、臨時補助員5名を含む）

(2) 非常勤職員 94名

- 内訳 調査補助員 10名
作業員 84名

Ⅱ 平成19年度事業概要

1 理事会の開催状況について

(1) 第65回臨時理事会

開催日 平成19年4月1日(日)

議案 財団役員の選任について

(2) 第66回臨時理事会

開催日 平成19年5月1日(火)

議案 財団役員の選任について

(3) 第67回通常理事会

開催日 平成19年6月27日(水)

議案 平成18年度事業報告について

平成18年度収支決算について

(4) 第68回臨時理事会

開催日 平成19年12月14日(金)

議案 職員給与規程の改正について

職員給与の特例に関する規程の制定について

(5) 第69回通常理事会

開催日 平成20年3月21日(金)

議案 平成19年度事業変更計画について

平成19年度事業収支予算の補正について

平成20年度事業計画について

平成20年度事業収支予算について

寄附行為の改正について

理事の辞任及び選任について

監事の辞任及び選任について

2 事業の実施状況について

(1) 埋蔵文化財発掘調査業務の実施

徳島県から委託を受け、次の12遺跡について発掘(試掘)調査業務を行った。

① 徳島南環状道路関連埋蔵文化財調査

ア 徳島市上八万町 下中筋遺跡 発掘調査面積 1,000㎡(延べ3,000㎡)

イ 徳島市国府町 延命遺跡 発掘調査面積 70㎡(延べ1,300㎡)

② 四国横断自動車道(徳島～鳴門)関連埋蔵文化財調査

鳴門市大麻町 姫田遺跡 発掘調査面積 2,050㎡

③ 舌洗橋外1橋更新工事に伴う埋蔵文化財発掘調査

徳島市国府町 観音寺遺跡 発掘調査面積 300㎡

④ 徳島南環状道路関連埋蔵文化財試掘調査

徳島市上八万町 川北遺跡・川西遺跡 試掘調査面積 800㎡(対象16,000㎡)

⑤	県立中央病院改築事業関連埋蔵文化財調査	徳島市南蔵本町 南蔵本遺跡	発掘調査面積	5,110㎡ (延べ9,600㎡)
⑥	緊急地方道路整備事業徳島東環状線(末広～住吉)関連埋蔵文化財調査	徳島市安宅町 徳島城下町跡安宅2丁目地点	発掘調査面積	680㎡
⑦	徳島東部都市計画道路3.4.22号庄名東線関連埋蔵文化財調査	徳島市名東町 名東遺跡, 南庄遺跡	発掘調査面積	4,320㎡
⑧	緊急地方道路整備事業(主要地方道鳴門池田線)関連埋蔵文化財調査	美馬市脇町 拝原東遺跡	発掘調査面積	1,900㎡(延べ2,930㎡)
⑨	道路改築事業(徳島環状線国府～藍住工区)関連埋蔵文化財調査	徳島市国府町 観音寺遺跡	発掘調査面積	250㎡
⑩	四国横断自動車道(徳島～鳴門)関連埋蔵文化財試掘調査	鳴門市大津町 大幸遺跡Ⅰ	試掘調査面積	340㎡(対象21,000㎡)
⑪	四国横断自動車道(徳島～鳴門)(大代地区)関連埋蔵文化財試掘調査	鳴門市大津町 大代遺跡Ⅰ, 大代遺跡Ⅱ	試掘調査面積	150㎡(対象10,200㎡)
	合計		発掘調査面積	16,380㎡(延べ24,430㎡)
			試掘調査面積	1,290㎡(対象47,200㎡)

(2) 出土埋蔵文化財整理業務の実施

徳島県から委託を受け、次のとおり出土埋蔵文化財の整理業務を行った。

①	徳島南環状道路関連埋蔵文化財出土品整理	徳島市国府町 観音寺遺跡	コンテナ	980箱
		徳島市国府町 延命遺跡	コンテナ	280箱
②	日和佐道路関連埋蔵文化財出土品整理	海部郡美波町 田井遺跡	コンテナ	70箱
③	加茂第一地区堤防の事業に伴う埋蔵文化財出土品整理	三好郡東みよし町 末石遺跡・中庄東遺跡	コンテナ	140箱
④	桑野川床上浸水対策特別緊急事業に伴う埋蔵文化財出土品整理	阿南市長生町 宮ノ木遺跡・大原遺跡・庄境遺跡	コンテナ	140箱
⑤	道路改築事業(徳島環状線国府工区)関連埋蔵文化財整理業務	徳島市国府町 観音寺遺跡・敷地遺跡・池尻桜間遺跡	コンテナ	910箱
⑥	広域基幹河川改修事業(園瀬川)関連埋蔵文化財整理業務	徳島市八万町 寺山遺跡	コンテナ	280箱
⑦	阿南警察署庁舎改築工事関連埋蔵文化財整理業務	阿南市富岡町 トノ町遺跡	コンテナ	140箱
		整理コンテナ総数	合計	2,940箱

(3) 発掘調査報告書の作成

次の6遺跡の発掘調査結果を報告書として作成した。

①	日和佐道路関連埋蔵文化財出土品整理	海部郡美波町 田井遺跡	発掘調査報告書	500部
---	-------------------	-------------	---------	------

②道路改築事業（徳島環状線国府工区）関連埋蔵文化財整理業務

徳島市国府町	観音寺遺跡Ⅳ	発掘調査報告書	500部
	敷地遺跡Ⅰ	発掘調査報告書	500部
	敷地遺跡Ⅱ	発掘調査概要報告	500部

③広域基幹河川改修事業（園瀬川）関連埋蔵文化財整理業務

徳島市八万町	寺山遺跡	発掘調査報告書	500部
--------	------	---------	------

④阿南警察署庁舎改築工事関連埋蔵文化財整理業務

阿南市富岡町	トノ町遺跡	発掘調査報告書	500部
--------	-------	---------	------

(5) 普及・啓発事業

①発掘現場における普及啓発活動（P.31参照）

ア 現地説明会 平成19年度に発掘中の遺跡等の調査成果を広く県民に紹介した。

イ 発掘調査成果の公表

ウ 遺跡体験見学会

南庄遺跡（徳島市南庄町）平成19年8月22日（水）参加人数 42名

②収蔵庫資料整理等業務（P.25参照）

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて、県内の埋蔵文化財の保存、活用がなお一層図られることを目的とし、収蔵庫内の資料整理、検索システムの構築、遺物保存処理等の業務を行った。

③阿波歴史体感ネットワーク「いにしえ夢街道」推進事業（P.22参照）

ア 夢街道交流促進事業

イ 郷土文化教育教材整備事業

ウ アワコウコ楽連続公開講座

エ アワコウコ楽マイスター

④埋蔵文化財総合活用事業（P.24参照）

ア 埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」

・実施期間 平成19年7月21日（土）～9月2日（日）

・テーマ展示 「アワ国のはじまり—王墓の系譜—」

・関連行事

おもしろ古代体験、遺跡体験見学会、調査成果報告会、ミニシンポジウム

イ 考古資料の活用 資料の借用・掲載・転載・撮影・実見等 51件

ウ 各種研修の受託 3件

エ 教材等の貸出 移動教材セット「体感！阿波の古代人」 15回

オ 出張授業・体験等の実施 授業、火おこし、勾玉づくり 21回

カ 受贈図書数 1,743冊

キ 財団法人徳島県埋蔵文化財センターホームページへのアクセス 22,946回

⑤徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務（P.28参照）

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針（利用促進、サービスの向上、コストの削減、施設の適正な維持管理、地域へ

の貢献・連携、安全管理、環境への配慮)に沿って、適切な管理運営業務を実施した。

ア 対象施設の利用状況 ・年間来所者数 8,218 名

イ 自主事業の実施状況
埋蔵文化財企画展の開催 5 回
毎日古代体験

3 平成 19 年度収支決算

財団法人徳島県埋蔵文化財センターの、平成 19 年度の収支決算等は次のとおりである。

(1) 収入の部 (単位：円)

科 目	平成 18 年度	平成 19 年度	比較増△減額	備 考
1 基本財産運用収入	63,821	120,000	56,179	
2 事業収入	855,382,500	879,407,900	24,025,400	
3 特定資産運用収入	74,000	82,000	8,000	
4 雑収入	26	0	△ 26	
5 繰越金	2,237,849	2,375,696	137,847	
合 計	857,758,196	881,985,596	24,227,400	

(2) 支出の部 (単位：円)

科 目	平成 18 年度	平成 19 年度	比較増△減額	備 考
1 事業費	831,203,897	860,742,185	29,538,288	
2 管理費	15,466,500	15,205,000	△ 261,500	
3 特定預金支出	8,712,103	3,468,715	△ 5,243,388	
合 計	855,382,500	879,415,900	24,033,400	

(3) 平成 19 年度収支差額

収入額合計	881,985,596 円
支出額合計	879,415,900 円
次期繰越額	2,569,696 円

(4) 事業量の推移

年度	発掘面積 (㎡)	整理コンテナ数 (箱)	総事業費 (円)
平成元	28,480	2,168	156,518,712
2	192,320	—	901,759,018
3	79,169	1,994	373,471,037
4	62,871	1,237	288,440,306
5	17,414	708	411,395,390
6	22,206	572	465,537,840
7	98,707	819	1,806,576,390
8	246,852	1,016	3,073,287,360

9	102,161	1,145	3,471,304,650
10	72,204	2,655	1,746,591,400
11	53,253	2,783	1,879,475,750
12	92,473	2,403	2,231,811,799
13	92,745	2,800	1,907,957,562
14	92,714	2,800	1,769,025,000
15	73,738	2,817	1,512,832,400
16	27,328	2,803	962,282,000
17	24,596	2,800	942,327,000
18	28,150	2,800	855,382,500
19	28,711	2,940	879,407,900

Ⅲ 調査事業報告

平成19年度は徳島県からの委託契約に基づき、国・県等の公共事業の事前調査として発掘調査10件、試掘調査3件の調査を実施した。事業量は前年度より1班減の4班での対応となった。地域別に見ると、徳島市8箇所、鳴門市3箇所、美馬市1箇所と県東部に集中している。現地説明会を実施した遺跡を中心に注目される成果があった。主な成果の概要について述べる。

徳島市南蔵本遺跡では弥生時代前期前半から古墳時代初頭に至る遺構・遺物が多数検出された。弥生時代前期前半の遺構では、小河川を分水するための堰が検出された。前期の堰としては隣接する庄・蔵本遺跡に次いで県内2例目である。この堰の下流で木製の飾り弓が出土した。ヤマグワ製で全面に黒漆を施し、弦は縄文時代の骨角製弦に似た形状を示す。弥生時代前期の飾り弓としては、福岡県雀居遺跡など3遺跡に次ぐ発見である。当遺跡の東側約500mに縄文時代晩期末の三谷遺跡は、庄遺跡群の弥生人と一時期共存していたとみられることから、両遺跡の交流でもたらされた可能性も考えられる。弥生時代後期後半から庄内式併行期の遺構面では、竪穴住居跡10軒、土坑78基、溝29条などが検出されている。竪穴住居跡SB1001は径10.3mを測る大型の焼失住居である。柱穴には柱材が6本遺存しており、うち1本は角材に近い形状で、基部中央を「コ」の字状に削り込む、いわゆる「根がらみ」が採用されている。樹種は柱材として使用される頻度の少ないツツジ科のシャシャンボである。

徳島市名東遺跡では、弥生時代中期前半の円形周溝墓の周溝部分が検出された。円丘部は径9.9m、周溝幅1.2m、検出面からの深さ0.8mを測る。南西部で周溝は途切れており、陸橋部分は幅1.7mである。主体部は後世の削平により消滅している。円形周溝墓は県内では3遺跡5例目であるが、当遺構が最も古い。円形周溝墓は前期に備讃瀬戸地域に定着し、その後分布域は拡大していくが、その過程でいち早く導入されたものと考えられる。

徳島市南庄遺跡では、弥生時代後期後半～古墳時代前期の断面V字状の溝から朱の付着したL字形石柵が出土した。古墳時代後期の竪穴住居跡も検出されている。

徳島市下中筋遺跡では、弥生時代中期後半のガラス製勾玉が出土した前年度調査区の東側に隣接する区域を調査した。同時期の竪穴住居跡4軒、サヌカイト石核の貯蔵穴などが検出された。弥生時代の遺構面直下からは晩期後半の凸帯文土器、結晶片岩製の石棒、石錘などが出土した。

美馬市拝原東遺跡では、弥生時代から古代の遺物・遺構が出土した。弥生中期以降とみられる径5mの竪穴住居跡、終末期の集石遺構2基などが検出された。

徳島市観音寺遺跡では、舌洗川の現河道の地点で、旧河川跡の合流点付近の調査を実施した。合流点そのものは検出されなかったものの、8世紀中頃以降の4万点に及ぶ遺物の中には木簡17点、木製祭祀具、墨書土器などが含まれている。10世紀初め～中頃の「今日全物語」と記された物語札は長さ約63cmで、切って2つに折られている。物語札はこれまで全国で23例が確認されており、本例は同時期に成立した「延喜式」に規定されたケガレ観に則ったものとみられ、地方官衙から初めて出土したことは注目される。

徳島城下町跡安宅2丁目地点は、徳島藩の水軍基地「安宅役所（御船屋）」に係る2000年度、2006年度に続く3度目の調査である。先行調査で検出された船蔵跡の中間区域の発掘により、船蔵の配置が明確になった。規模と配置から幕末に描かれた「安宅御船蔵絵図」の「御台所船 鷲尾丸」と「十一端帆」に該当するものと考えられる。全国的にも類例の少ない、絵図には描かれない船蔵の下部構造が明らかとなった。（湯浅）

県事業関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

No	遺跡名(事業名)	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	南蔵本遺跡 (県立中央病院改築事業)	徳島市南蔵本町1丁目2-10他	5,110㎡ (調査面積) 9,600㎡ (延べ面積)	H19.4.1～ H20.3.31	○縄文時代 ○弥生時代 江戸時代	竪穴住居・溝・土坑・水田	縄文土器・弥生土器・石器・石製品・金属製品
2	徳島城下町跡安宅2丁目地点(安宅役所跡) (緊急地方道路整備事業徳島東環状線(末広～住吉))	徳島市安宅2丁目50他	680㎡ (調査面積)	H19.7.1～ H19.8.31	◎江戸時代	溝・土坑・柱穴・板敷・石敷	陶磁器・瓦・木製品・金属製品
3	名東遺跡 (徳島東部都市計画道路事業3.4.22号庄名東線)	徳島市名東町1丁目46他	4,320㎡ (調査面積)	H19.4.1～ H19.12.31	○弥生時代 平安時代 ◎鎌倉時代 ○室町時代 江戸時代	掘立柱建物・溝・土坑・柱穴・井戸	弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・瓦・石器・銭貨
4	南庄遺跡 (徳島東部都市計画道路事業3.4.22号庄名東線)	徳島市南庄町5丁目69他			○弥生時代 ◎古墳時代 ○室町時代	竪穴住居跡・溝・自然流路	弥生土器・土師器・須恵器
5	拝原東遺跡 (主要地方道鳴門池田線)	美馬市脇町字拝原2327他	1,900㎡ (調査面積) 2,930㎡ (延べ面積)	H19.4.1～ H19.9.30	○弥生時代 古墳時代 鎌倉時代 室町時代	竪穴住居・水田・集石	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器
6	観音寺遺跡 (道路改築事業(徳島環状線国府工区))	徳島市国府町観音寺字二反田639.3他	250㎡ (調査面積)	H19.7.1～ H19.9.30 H19.12.1～ H19.12.31	飛鳥時代 ◎奈良時代 ◎平安時代	自然流路	土師器・須恵器・土製品・石製品・木簡・木製品・金属製品・動物遺体
7	大幸遺跡1 (四国横断自動車道(徳島～鳴門間)建設事業)	鳴門市大津町大幸字大將軍の越3番地1他	340㎡ (試掘調査面積) 21,000㎡ (対象面積)	H19.10.1～ H19.10.31	鎌倉時代 室町時代		土師質土器・須恵器
8	大代遺跡1・Ⅱ (四国横断自動車道(徳島～鳴門間)建設事業)	鳴門市大津町大代他	150㎡ (試掘調査面積) 10,200㎡ (対象面積)	H20.2.1～ H20.3.31	弥生時代	—	サヌカイト片

国事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

No	遺跡名(事業名)	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
9	観音寺遺跡 (舌洗橋外1橋更新工事)	徳島市国府町観音寺字二反田640-1他	300㎡	H19.11.1～ H20.1.31	飛鳥時代 ◎奈良時代 ◎平安時代	自然流路	土師器・須恵器・土製品・石製品・木簡・木製品・動物遺体
10	下中筋遺跡 (徳島南環状道路(大木地区)改築事業)	徳島市上八万町下中筋178-1他	1,000㎡ (調査面積) 3,000㎡ (延べ面積)	H19.10.1～ H20.3.31	○弥生時代 ◎奈良時代 ◎平安時代	掘立柱建物・竪穴住居・溝・土坑・柱穴・水田	弥生土器・石器・金属製品
11	延命遺跡 (徳島南環状道路改築事業)	徳島市国府町延命	770㎡ (調査面積) 2,310㎡ (延べ面積)	H20.1.1～ H20.3.30	平安時代 ◎鎌倉時代 室町時代	水田・溝・土坑	土師器・須恵器・陶器・磁器
12	姫田遺跡 (四国横断自動車道(徳島～鳴門間)建設事業)	鳴門市大麻町姫田字五反田4-1他	1,0130㎡ (調査面積)	H19.4.1～ H19.6.30	平安時代 ◎鎌倉時代 室町時代 江戸時代	溝・土坑・柱穴	土師器・須恵器・瓦器・磁器
13	川北遺跡 川西遺跡 (徳島南環状道路改築事業)	徳島市上八万町字川北377番地他 徳島市上八万町字川西180-1他	800㎡ (試掘調査面積) 16,000㎡	H20.2.1～ H20.3.31	◎鎌倉時代 ◎室町時代 江戸時代	土坑・集石・遺構・柱穴	土師質土器・瓦器・陶磁器



※黒塗り記号は本発掘調査地点、白抜き記号は試掘調査地点

発掘調査地点位置図

みなみくらもと 南蔵本遺跡

所在地 徳島市南蔵本町1丁目2-10 他
調査期間 2007年4月1日～2008年3月31日
担当者 近藤 西條 松家 谷川

南蔵本遺跡では、昨年度に引き続き、弥生時代前期から古墳時代前期初頭の遺構、遺物が検出されている。なかでも、弥生時代前期の堰は注目される。調査区南端で、西から東に総長100m以上流れていた自然流路に杭を打ち込み、横板をはめ込み、水田へと分水するための堰が確認された。

堰の構造は、平面的には西から東への水流に対して約50度の傾きをもって構築されている。堰の上流側の流路底は標高0.7mであるのに対して、下流側の底は標高0.5mであり、下方へ傾いている洗掘の状況を示している。なお、堰の構築場所における流路断面は、上辺2.1m、下辺1.0m、深さ0.7mの逆台形である。堰は、前期前半から構築されており、幾度かの補修または改修が行われ、前期末の洪水により埋没後、機能しなくなったと考えられる。

この堰から下流へ5m東からは、木製の鎌などの農具とともに、県内最古となる弓が出土した。残存長116cm（復元全長150cm）、幅2.7cm、厚さ2.5cmである。弦を張るための引部分は方形に削りだされ、二つの小穴が認められる。また、幅約2mmの樹皮を五、六重に巻いた飾りを、10cmほどの間隔であしらったあと、表面全体には黒漆を塗っている。一見して、非常にいいなつくりであり、当時の木工技術の高さがよくわかる逸品である。

その他、後期後半から古墳時代前期初頭の竪穴住居跡や井戸も見つかっており、弥生時代から古墳時代の集落の変遷を考える上で貴重な資料が得られた。（近藤）



1 調査地の位置（徳島）



2 第1遺構面完掘状況



3 堰検出状況



4 第4遺構面完掘状況

徳島城下町跡安宅2丁目地点（安宅役所跡）

所在地	徳島市安宅2丁目50他
調査期間	2007年7月1日～2007年8月31日
担当者	松家 谷川

吉野川河口域にあり網の目状に川に囲まれた地点に位置する。調査地点は、絵図などとの照合から、近世徳島藩が設けた水軍基地「安宅役所」の北西端付近に該当する。これまで2回の発掘調査によって絵図に描かれた船蔵と板材を組み合わせた内部構造が判明している。

今回の調査により、隣り合う蔵との空間には明瞭な施設を伴わないこと、蔵と前面（南側）に接する堀には護岸となる石列が設けられていること、蔵の下部構造となる基礎構造などを明らかにした。江戸時代に各藩に置かれた船蔵の施設について、良好な資料を提供したと言える。（藤川）



1 調査地の位置（徳島）



2 調査地の全景



3 西側の蔵の前面の木組構造
（再検出）

みなみしょう 南庄遺跡

所在地	徳島市南庄町他
調査期間	2007年4月1日～12月21日
担当者	栗林 森

鮎喰川右岸、眉山北西麓の標高7～10mの沖積平野に展開する遺跡である。眉山から北西に延びる埋没尾根を切るように古墳時代初頭の溝状遺構が掘削されている。同遺構からは、東阿波型土器と共に朱が付着した砂岩製L字形石杵が出土した。名東遺跡や庄遺跡群における朱の利用を追認する資料である。また、古墳時代後期の竪穴住居や溝状遺構は、調査地点北東側に広がる集落の南端を示すものと考えられる。名東山古墳群を築造した母集団と位置付けることができよう。調査区北側からは自然流路が検出され、中世の舟着遺構と推定される石敷きや坂道状遺構が確認された。（栗林）



1 調査地の位置（徳島・川島）



2 大溝完掘状況



3 水銀朱の付着した石杵

みょう とう
名 東 遺 跡

所在地 徳島市名東町1丁目46他
調査期間 2007年4月1日～12月31日
担当者 栗林 森

鮎喰川右岸、眉山北西麓の標高7～10mの沖積平野に展開する遺跡である。今回、徳島県下最古段階の円形周溝墓（弥生時代中期前半）が確認された。周溝内からは、口縁端部を打ち欠いた細頸壺や片岩製石庖丁が出土した。備讃瀬戸地域で成立した円形周溝墓が、東方へ拡散する頃に徳島にも波及したことがわかる。また、後出する方形周溝墓も3基確認された。調査区南側では、古代末～中世にかけての区画溝や掘立柱建物が多数検出され、方形区画屋敷地に該当するものと推定される。（栗林）



1 調査地の位置（徳島）



2 方形周溝墓検出状況



3 円形周溝内土器出土状況

はい ぼら ひがし
拝 原 東 遺 跡

所在地 美馬市脇町字拝原2327他
調査期間 2007年4月1日～9月30日
担当者 大北 川口

本遺跡は、東方にある曾江谷川の堆積作用による扇状地の扇端部、標高約40mに位置するが、今年度の調査地の南側は、旧吉野川の浸食作用により河岸段丘となる。2004年から始まったこれまでの調査で、弥生時代および鎌倉・室町時代の集落、および弥生時代～古代にかけての水田が確認されている。今年度の調査区は遺跡の西端にあたり、これまでの調査と同様に当該期の遺構が確認されたが、遺構密度が低くなっていくことから集落の縁辺部にあたると思われる。（大北）



1 調査地の位置（脇町）



2 集石遺構検出状況



3 第2遺構面検出状況

かん のん じ 遺 跡

観 音 寺

所在地 徳島市国府町観音寺字二反田 640-1 他
調査期間 2007年7月1日～9月30日、
11月1日～2008年1月31日
担当者 大橋 入江 大北 川口 粟林 森

鮎喰川西岸に形成された沖積平野上に位置し、標高7～8mを測る。今年度の調査区は、国道192号線にかかる舌洗橋の真下であり、現在の舌洗川の河道が対象となる。調査の結果、南から流れる6世紀末～8世紀前半の古い河川は、想定より東側に蛇行することがわかった。また出土した木簡には、現代の「忌中札」の原型である「物忌札」や「甘漬餅二斗」がある。「物忌札」は国府に関連すると考えられ、「甘漬餅二斗」は現時点では類例が少なく不明な点が多いものの、古代の食品の歴史を考えるうえで注目されるものといえる。(大北)



1 調査地の位置 (川島)



2 物忌札出土状況



3 齋申出土状況

だいこう 大幸遺跡他試掘調査

所在地 鳴門市大津町大幸字大將軍の越3番地1他
鳴門市大津町町大代字 他
調査期間 2007年10月1日～10月31日、
2008年2月1日～3月31日
担当者 大北 川口 松家 谷川

大幸遺跡Ⅰは、旧吉野川によって形成された沖積平野上に位置し、標高0～0.6m前後を測る。今回の調査対象地において土師質土器片を表採したものの、遺物包含層と考えられる層は認められず、また遺構も確認できなかったことから、本調査の必要性はないと思われる。(大北)

大代遺跡Ⅰ・Ⅱは、阿讃山麓から南方に延びる尾根上に位置する遺跡であり、大代古墳(県史跡)の南東にあたる。試掘調査に先立って詳細な地形測量を実施し、古墳の墳丘などを想定した上でトレンチ調査を行った。その結果、大代遺跡Ⅰについては若干のサヌカイト片が出土したものの、遺構は見られず本調査の必要性はないものと判断された。(藤川)



1 調査地の位置
(徳島・鳴門海峡)



2 大幸遺跡Ⅰ遠景



3 大代遺跡Ⅰ

しもなかすじ遺跡 下中筋遺跡

所在地 徳島市上八万町下中筋 178-1 他
調査期間 2007年10月1日～2008年3月31日
担当者 大橋 入江

本遺跡は徳島市上八万町下中筋に所在する。圃瀬川が形成した沖積平野上に位置し、標高5.5mである。4時期の遺構面を調査し、弥生時代中期後半の第3遺構面と縄文時代晩期の第4遺構面において、遺構や遺物がまとまって検出された。第3遺構面では、焼失住居を含む竪穴住居4軒と多数の柱穴や土坑を確認した。このうち長軸約60cmの楕円形で最深部が約20cmの土坑からは、サヌカイトの石核10枚が重なって出土した。第4遺構面では明確な遺構は確認できなかったが、土器や石器が集中して出土した部分が確認された。(大橋)



1 調査地の位置 (徳島)



2 弥生時代中期の遺構面



3 サヌカイト石核集積遺構

えんめい遺跡 延命遺跡

所在地 徳島市国府町延命字 3-1 他
調査期間 2008年1月1日～3月31日
担当者 栗林 森

延命遺跡は、徳島県国府町延命に所在し、鮎喰川西岸の三角州性扇状地上に立地する。奈良時代から水田開発が行われていたが、今回の調査対象地は、自然堤防に近く高所であるために水田化が遅れ、11世紀に耕地化されたことが確認された。一方、自然堤防の外(鮎喰川)側においても小規模な後背湿地が存在し、やや遅れて13世紀代に堆積した土壌を利用して水田化されたことが確認できた。(栗林)



1 調査地の位置 (川島)



2 1区第2遺構面完掘状況



3 2区第3遺構面完掘状況

かわきた

川北遺跡他試掘調査

所在地 徳島市上八万町字川北 377 番地他
徳島市上八万町字川西 180-1 他
調査期間 2008年2月1日～3月31日
担当者 大北 川口

川北遺跡・川西遺跡は、瀨川北岸に形成された標高6.7m前後の沖積平野上に位置する。川北遺跡では河川堆積が強く、幕末期の遺構は検出できたものの、それ以前のは検出できなかった。よって、今回の調査対象地において本調査の必要性はないと思われる。川西遺跡では、12・13世紀の土師質土器片や瓦器検が出土し、遺物包含層及び遺構面の確認ができた。また性格は不明ながら集石遺構を検出し、それが未調査部分に延びることから、以降の調査によって、本調査範囲を確定する予定である。(大北)



1 調査地の位置 (徳島・川島)



2 川北遺跡遠景



3 川西遺跡遠景

ひめだ 姫田遺跡

所在地 鳴門市大麻町姫田字五反田 4-1 他
調査期間 2007年4月1日～6月30日
担当者 大橋 入江

本遺跡の現標高は2～3mである。阿讃山脈東端の山裾と吉野川が形成した沖積平野が接する位置にある。遺跡の北側には県内有数の古墳群があり、南側は古代の南海道が推定されている地域である。現在の耕作土直下に遺構面を確認した。溝や土坑などの遺構を確認したが、遺物が少なく時期は特定できなかった。僅かに残存した包含層からは、古代から中世の土器片や土製品が混在して出土した。また、遺構面から約80cm下層には有機物が厚く堆積した層が広く分布していることが明らかとなったが、遺物は全く出土しなかった。(大橋)



1 調査地の位置 (徳島)



2 調査区 (南から)



3 土層堆積状況

IV 整理事業報告

平成 19 年度は、徳島南環状道路改築事業関連、桑野川床上浸水対策事業関連、加茂第 1 地区堤防工事関連、一般公共事業関連など、7 事業に伴う 8 遺跡の整理事業を行い、担当研究員 22 人、整理事業員延べ 21,120 人が従事した。

上記のうちで田井遺跡を含む 4 事業 5 遺跡については整理事業を完了し、報告書を刊行した。

その他の遺跡も報告書刊行に向け、基礎整理まで、図版作成まで、原稿執筆まで、とそれぞれの工程に応じて整理事業を行ったが、整理概要については一覧に表示した。

出土品整理業務一覧表

事業名	遺跡名	所在地	事業者	整理期間	整理担当者	遺跡の概要	整理概要	備考
加茂第 1 地区堤防工事	中庄東	三好郡東三好町(旧三加茂町)中庄 445 他	国土交通省四国地方整備局	2007/4/1～2008/3/31	島田	飛鳥～江戸の集落	原稿執筆まで	報告書は平成 20 年度に刊行予定
徳島南環状道路	観音寺	徳島市国府町観音寺 466-1 他	国土交通省四国地方整備局	2007/4/1～2008/3/31	田川 楠地 中西 片山 坂賀 宮田 豊田	古代の官衙関連遺跡	原稿執筆まで	報告書は平成 20 年度に刊行予定
徳島南環状道路	延命	徳島市国府町延命	国土交通省四国地方整備局	2007/4/1～2008/3/31	井内 園木		原稿執筆まで	報告書は平成 20 年度に刊行予定
桑野川床上浸水対策	宮ノ本	阿南市長生町	国土交通省四国地方整備局	2007/4/1～2008/3/31	早淵	縄文～江戸の集落	基礎整理まで	報告書は平成 20 年度に刊行予定
道路改築事業(徳島南環状線国府工区)	観音寺・敷地	徳島市国府町敷地鶴ノ本 349 他	道路建設課	2007/4/1～2008/3/31	氏家 中川 幸泉 服部 山上 澤井	古代の官衙関連遺跡	図版作成まで	報告書刊行
広域基幹河川改修事業(横瀬川)	寺山	徳島市八万町寺山 71 他	河川課	2007/4/1～2008/3/31	原 藤川	古墳～中世の集落	図版作成 原稿執筆まで	報告書刊行
日和佐道路	田井	海部郡美波町田井	国土交通省四国地方整備局	2007/4/1～2007/9/30	久保脇	縄文時代中期の集落	原稿執筆まで	報告書刊行
阿南警察改築関連	トノ町	阿南市富岡町	徳島県警	2007/4/1～2008/3/31	片山 塩治	鎌倉～江戸の集落	図版作成 原稿執筆まで	報告書刊行

V 埋蔵文化財センターの活動

平成19年度の普及関連事業は、従来の業務を継承しながらも、更なる充実のための創意工夫を加え、埋蔵文化財の保護・普及・啓発に努めた。

1 阿波歴史体感ネットワーク「いにしえ夢街道」推進事業

史跡、埋蔵文化財は、地域の歴史や文化を語る貴重な財産であることから、県内に点在する文化財を群としてとらえ、関連文化財や博物館等の施設をつなぐことで、文化財の総合的な活用を図るとともに、関係市町・関係部局との連携や住民の参加と協働による文化財を活かした地域づくりと地域交流の促進による地域の活性化を目指す事業である。平成17年度に実施した埋蔵文化財総合活用事業を基盤として進化・発展させた事業であり、埋蔵文化財センターは次の事業を実施しながら、その中核的役割を担ったものである。

(1) 「室町ロマンから藩政へのみち」シンポジウム・企画展

阿波国主細川氏・三好氏の本拠となった守護町勝瑞城館跡と蜂須賀氏によって開かれた徳島城下町、この二つの拠点にある文化財を活かした地域連携の試みとして企画展とシンポジウムを実施した。

①企画展

徳島市立徳島城博物館、徳島市教育委員会、藍住町教育委員会と合同で、考古資料・文書・絵図などの展示を行った。展示にあわせて、徳島城博物館において、主催各機関から講師を派遣して連続講座を、シンポジウムにあわせて、講演会を実施し、入館者の増に努めた。

- ・実施期間 平成19年12月4日(火)～平成20年1月27日(日)
- ・実施場所 徳島市立徳島城博物館
- ・テーマ 「天正の落日と曙光 守護町勝瑞から城下町徳島へ」
- ・来館者数 4,021名

②連続講座

- ・2007年12月8日(土)「戦国時代研究の最前線—三好氏の時代とは—」須藤茂樹氏(徳島城博物館)
- ・2007年12月9日(日)「守護町の繁栄と滅亡」重見高博氏(藍住町教育委員会)
「勝瑞を支えた集落」島田豊彰(財団法人徳島県埋蔵文化財センター)
- ・2007年12月22日(土)「中世の民衆文化」長谷川賢二氏(徳島県立博物館)
「戦国期の城郭—三好氏から蜂須賀氏へ—」辻住伸氏(徳島県教育委員会)
- ・2008年1月6日(日)「蜂須賀家の町づくり 城下町徳島の成立」根津寿夫氏(徳島城博物館)
「徳島城下町を掘る」勝浦康守氏(徳島市教育委員会)
- ・2008年1月19日(土)「常三島遺跡から見る徳島城下町の一断面—安宅島初期船置所を中心に—」定森秀夫氏(徳島大学埋蔵文化財調査室)

③記念講演会

- ・2008年1月13日(日)「天正の落日と曙光—守護町勝瑞から城下町徳島へ—」
伊藤正義氏(鶴見大学)

④シンポジウム

- ・実施日 平成20年1月14日(月)

- ・実施場所 徳島県郷土文化会館
- ・テーマ 「守護町・城下町 文化遺産は地域を活かす」
講演1「戦国三好一族の活躍—阿波から大坂へ—」仁木宏氏（大阪市立大学）
報告1「勝瑞城館跡・守護町勝瑞遺跡の調査と整備」重見高博氏（藍住町教育委員会）
講演2「城と墓所からみた徳島藩の魅力」藪田貫氏（関西大学）
報告2「徳島藩主蜂須賀家墓所の調査と整備」三宅良明氏（徳島市教育委員会）
報告3「徳島城博物館ボランティア友の会の活動について」
佐藤義忠氏（徳島城博物館ボランティア友の会）
- ・パネルディスカッション コーディネーター 伊藤正義氏（鶴見大学）
パネラー 講演者・報告者・菅原康夫氏（徳島県教育委員会）
- ・参加者数 130名

(2) アワコウコ楽連続公開講座

考古学から見た阿波の地域性を主テーマとし、各時代の代表的な事例を選択して、前・後期に分け講演会や展示解説を行った。

- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター
- ・前期：テーマ「行き交う物と人—吉野川の古代と中世—」
第1回 平成19年9月16日（日）受講者60名
特別講演「荘園の展開と吉野川」 福家清司氏（文化庁）
第2回 平成19年9月30日（日）受講者61名
講演1「古代の遺跡から見る物と人—赤い土器の流通—」早渕隆人（研究員）
講演2「中世遺跡から見た物と人の動き—吉野川流域の荘園—」島田豊彰（研究員）
- ・後期：テーマ「装身具の考古学—いにしへの装いと彩り—」
第1回 平成20年2月3日（日）受講者60名
特別講演「縄文装身の世界を探る—珠飾とその社会—」
藤田富士夫氏（富山市埋蔵文化財センター）
第2回 平成20年2月17日（日）受講者70名
特別講演「王墓山古墳と保存修理事業」 笹川龍一氏（普通寺市教育委員会）
講演「下中筋遺跡出土のガラス製勾玉について」 近藤玲（主任研究員）

(3) アワコウコ楽マイスター

考古学的成果を踏まえながら、古代の技術・文化を連続的に追体験することにより、県民の埋蔵文化財に対する理解と関心を高めることに努めた。

- ・実施期間 平成19年5月20日（日）～平成19年12月2日（日）
- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター 他
- ・テーマ 「めざせ!アワコウコ楽マイスター!
- ・講座内容
第1回 平成19年5月20日（日）「着よう」
開講式、古代の衣のはなし、古代衣装製作・着身体験
第2回 平成19年6月3日（日）「植えよう」

- 古代の米づくりのはなし、古代米田植え体験
- 第3回 平成19年6月17日(日)「飾ろう」
古代のアクセサリーのはなし、勾玉・ガラス玉づくり体験
- 第4回 平成19年7月30日(月)～8月3日(金)「掘ろう」
遺跡発掘のはなし、発掘体験
- 第5回 平成19年9月9日(日)「土器つくろう」
古代の土器のはなし、土器づくり体験
- 第6回 平成19年10月14日(日)「収穫しよう」
古代の稲刈りのはなし、古代米稲刈り体験
- 第7回 平成19年10月21日(日)「土器焼こう」
古代の土器のはなし、野焼き体験
- 第8回 平成19年11月18日(日)「見よう」
遺跡見学バスツアー、県南部地域の遺跡臨地体験
- 第9回 平成19年12月2日(日)「食べよう」
古代食のはなし、調理体験、試食体験、閉講式

・受講者延数 199名

(4) 夢街道オンライン

阿波歴史体感ネットワーク「いにしえ夢街道」推進事業のホームページとして「夢街道オンライン」を開設した。

(5) 郷土文化教育教材整備事業

発掘調査で出土した埋蔵文化財を素材に、郷土の歴史についての理解を深め、歴史をより身近なものとして捉え、文化財保護についての関心を抱いてもらい、調べ学習や体験学習につながる郷土徳島の遺跡・遺物を紹介する学習教材(写真パネルと解説文)を作成し、県内の小学校に配布した。

- ・実施期間 平成19年4月1日(土)～平成20年3月31日(月)
- ・テーマ 「ゲンちゃんと学ぼう 徳島の歴史舞台」
- ・内容等 「大杉遺跡の棚田跡」「土師器と須恵器」「円通寺遺跡」「一宮城跡」
- ・制作部数 230部

2 埋蔵文化財総合活用事業

(1) 埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」

平成18年度に発掘した遺跡からの主要な出土品を展示し、その調査成果をいち早く県民に紹介するとともに、各種関連行事も実施し、郷土の歴史に対する理解と認識、文化財保護意識の向上に努めた。

- ・実施期間 平成19年7月21日(土)～9月2日(日)
- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター
- ・速報展示 守護町勝瑞遺跡、徳島城下町跡安宅2丁目地点、名東遺跡、南蔵本遺跡、下中筋遺跡、広田遺跡、宮ノ本遺跡、大原遺跡、庄境遺跡

・テーマ展示 「アワ国のはじまり—王墓の系譜—」

萩原1号墓、萩原2号墓、西山谷2号墳、安楽寺谷1号墳、足代東原遺跡、宮古古墳、
天河別神社1号墳

・関連行事

第1回おもしろ古代体験7月22日(日)「ガラス玉・勾玉づくり」	参加者 28名
第2回おもしろ古代体験8月19日(日)「拓本づくり」	参加者 19名
第3回おもしろ古代体験8月26日(日)「土笛づくり」	参加者 34名
遺跡体験見学会 8月22日(水) 南庄遺跡(徳島市南庄町)	参加者 42名
調査成果報告会・展示解説 7月29日(日)	参加者 28名
報告 「安宅役所跡」 谷川真基(研究補助員)	
「宮ノ本遺跡」 大橋春順(主任研究員)	
「下中筋遺跡・広田遺跡」 近藤玲(主任研究員)	
「南蔵本遺跡」 栗林誠治(主任研究員)	

・ミニシンポジウム

8月5日(日)	参加者 130名
「アワ国のはじまり—王墓の系譜—」	
報告 「萩原2号墓の調査成果報告」 藤川智之(係長)	
報告 「萩原2号墓の位置づけ」 菅原康夫氏(徳島県教育委員会)	
講演 「萩原古墳群とヤマト」 石野博信氏(徳島文理大学)	
トークセッション 石野氏、菅原、藤川	

・来所者数 1,675名

3 収蔵庫資料整理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて、県内の埋蔵文化財の保存、活用がなお一層図られることを目的とし、収蔵庫内の資料整理、検索システムの構築、遺物保存処理等の業務を行った。

(1) 考古資料の活用 考古資料の借用・掲載・転載・撮影・実見等件数 51件

考古資料の活用

No	申請様式	貸出資料等	員数	貸出先(申請者)	掲載書籍・作品等
1	借用・掲載	勾玉・白玉等(庄)、土師器(矢野)等	69	徳島市立考古資料館	企画展に展示
2	掲載	瀬鏡(西山谷2号墳・カネガ谷萩原1号墓)他	5	林 博章	書籍掲載のため
3	借用・掲載	木簡複製12、墨書・胡書土器5点等(観音寺・敷地)	43	発掘された日本列島履実行委員会	発掘された日本列島2007に展示
4	借用・掲載	大谷反遺跡高地性集落写真	1	株式会社山川出版社	「徳島県の歴史」の口絵に掲載
5	借用・掲載	難波津木簡写真	1	株式会社山川出版社	「徳島県の歴史」の口絵に掲載
6	借用・掲載	観音寺遺跡木簡出土状況写真	1	発掘された日本列島履実行委員会	発掘された日本列島2007に展示
7	掲載	新蔵町3丁目遺跡 葉タバコ水差写真・実測図	2	松本 啓子	研究成果報告書に掲載
8	借用・掲載	宮ノ本遺跡全景・遺物出土状況等写真	4	株式会社新人物往来社	「都市をつなぐ 中世都市研究13」掲載
9	借用	緑釉陶器(古町・宮ノ前・立江馬淵)他	32	藍住町教育委員会	企画展示のため
10	実見	観音寺遺跡出土木簡	85	木原 克司	大学院の授業の一環
11	転載	土製飯前(矢野遺跡)写真	1	大和書房	「楽しい考古学」表紙装丁

12	借用	丸山・大谷尻・日吉谷遺跡等出土石斧等	130	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財企画展に展示
13	実見・撮影	火葬人骨(円通寺遺跡)	3	谷畑 美帆	研究資料として使用するため
14	借用・掲載	銅印(観音寺遺跡)写真	2	徳島県立博物館	博物館ニュースの紹介記事に掲載
15	借用・掲載	木製品・木簡・銅印(観音寺・敷地遺跡)	9	日本考古学協会	H P掲載(英文コンテンツ)
16	実見・撮影	鉄鏃・銅鏃(西山谷1・2号, 大代, 蓮草谷1号)	57	川畑 純	修士論文執筆のため
17	実見・複写・撮影	銅鏃(辰岡・庄・萩原1・2号墓)	4	岩崎 佳奈	修士論文執筆のため
18	借用	向寺山古墳1号石棺	9	徳島県立博物館	新発見考古速報展に展示
19	借用・掲載	縄文土器(矢野遺跡)写真	1	(株) 至文堂	「縄文土器 後期」に掲載
20	借用・掲載	矢野遺跡遠景写真	1	徳島新聞社	講演要旨記事に添付
21	借用	銅鏃・銅鏃(萩原1号墓・カネガ谷遺跡等)	8	徳島市立考古資料館	企画展に展示
22	借用・掲載	銅鏃・銅鏃等写真(萩原1号墓・カネガ谷遺跡等)	34	徳島市立考古資料館	企画展の図録掲載および展示
23	借用	土師器・陶器等(敷地・中庄東・立江馬遺跡等)	48	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財企画展に展示
24	展示	突線紐式装束文銅鏃(矢野遺跡)	1	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財企画展に展示
25	借用・撮影・掲載	ナイフ形石器(坊僧)・青磁碗(敷地)	7	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	国文祭報チラシに使用
26	借用・掲載・展示	延生軒跡出土青磁染付他遺物・写真	269	徳島県立博物館	「発掘された日本列島2007」に展示
27	転載	遺跡位置関係図(観音寺・敷地遺跡)	1	日本考古学協会	H P掲載
28	借用・掲載	石器(坊僧)・銅鏃(矢野)等写真	10	徳島県中学校社会科教育研究会	「歴史の資料集」に掲載
29	実見・拓本・掲載	軒平瓦(立善寺遺跡)	2	川畑 聡	第11回古代瓦研究シンポジウム用資料作成のため
30	借用・展示	ナイフ形石器(坊僧)・ガラス勾玉(下中筋)他	123	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	国文祭に展示
31	借用・掲載	論語木簡写真	1	(株) 小学館	「日本の歴史」第2巻に掲載
32	借用	五十戸税・難波津・萩野国守・論語木簡レプリカ	4	徳島県立博物館	「発掘された日本列島2007」に展示
33	借用・掲載	矢野銅鏃写真	1	朝日新聞大阪本社	「発掘された列島2007」の開催社告で使用
34	借用・展示	分銅型土製品(西長峰遺跡)画像	1	青谷上寺地遺跡展示館	ロビー展示でのパネル展示
35	放送	助語木簡写真	1	N H K 松山放送局	番組で列島展の紹介をするため
36	実見	矢野遺跡出土土器類・弥生土器(名東遺跡)	20	大阪府立弥生文化博物館	特別展に展示
37	借用・掲載	助語木簡・御饗木簡・発掘風景写真(観音寺遺跡)	3	建通新聞社	新聞に掲載
38	借用・掲載	萩原2号墓写真	1	日本考古学協会	「日本考古学年報」59号に掲載
39	実見	照指定有形文化財(萩原1号墓・西山谷2号墳)	63	大阪府立近つ飛鳥博物館	借用に伴う資料調査
40	借用・展示	三輪玉・勾玉・切子玉・管玉等(山崎古墳群)他	28	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財企画展に展示
41	借用・展示	徳島城下町遺跡出土土製品(馬, 犬等)	34	徳島県立文書館	企画展に展示
42	借用・展示	徳島城下町遺跡出土土製品(馬, 猫等)	34	徳島県立文書館	企画展に展示
43	借用・展示	ガラス製勾玉(下中筋)珠状耳飾り(田井)	8	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	連続公開講座「特集展示」に展示
44	掲載	矢野銅鏃・助語木簡 写真	2	阿波のあゆみ編集委員会	「阿波のあゆみ」に掲載
45	資料提供	土師器・須恵器・製塩土器・瓦(観音寺遺跡)	113	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	胎土分析のため
46	撮影	線刻土器(矢野・名東遺跡)	6	大阪府立弥生文化博物館	特別展に展示・図録等に掲載
47	借用・撮影・掲載	板状鉄斧(矢野)・白磁碗・青磁碗(敷地)等	24	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	「第5回発掘へんろ」のポスター等作製
48	借用・掲載	板状鉄斧(矢野)・白磁碗・青磁碗(敷地)等	27	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	「第5回発掘へんろ」展示・広報資料掲載
49	実見	縄文土器(荒川遺跡・矢野遺跡)	1640	千葉 豊	西日本の縄文文化研究のため
50	借用・印刷	観音寺木簡(五十戸税・萩野国守)写真・図面	4	徳島市教育委員会	木簡のレプリカ作製のため
51	実見	観音寺出土木簡・人形等木製祭祀具	20	菊池 照夫	日本古代史の研究のため

(2) 図書検索システムの整備

(3) 遺物保存処理

(4) 各種研修の受託

No	期日	研修会名	内 容	参加者
1	7/30・31、8/8	初任者研修	調査業務（2日）、整理業務（1日）	3名
2	10/4・5	職場体験（板野中学校）	整理業務（1.5日）、普及業務（0.5日）	4名
3	12/13・14	インターンシップ（板野高校）	調査業務（2日）	6名

・初任者研修（企業等研修）

新任教員の資質向上を目指す研修の一環として行った。

- ・期日 平成19年7月30日（月）・31日（火）、8月8日（水）
- ・研修内容 発掘調査業務体験（徳島市南蔵本町 南蔵本遺跡）
- ・参加人員 3名

・職場体験学習

中学生（板野中学校）の進路指導の一環として、実習体験を行った。

- ・期日 平成19年10月4日（木）・5日（金）
- ・研修内容 発掘調査業務体験（徳島市南蔵本町 南蔵本遺跡）
- ・整理・普及業務体験（板野郡板野町 県立埋蔵文化財総合センター）
- ・参加人数 4名

・高校生インターンシップ

高校生（板野高校）の進路指導の一環として、実習体験を行った。

- ・期日 平成19年12月13日（木）・14日（金）
- ・研修内容 発掘調査業務体験（徳島市南蔵本町 南蔵本遺跡）
- ・整理・普及業務体験（板野郡板野町 県立埋蔵文化財総合センター）
- ・参加人員 6名



初任者研修



中学生職場体験学習



高校生インターンシップ

(6) 普及指導（出張授業） 21回

出張授業

No	月日	利用団体	人数	内容
1	4/25（水）	木頭小学校 6年生	9名	教材・火おこし
2	4/28（土）	橋之瀬小学校 1～6年生	16名	教材・火おこし・勾玉作り
3	5/7（月）	芝坂小学校 5・6年生	14名	教材・火おこし・勾玉作り
4	5/8（火）	内町小学校 6年生	37名	火おこし・勾玉作り
5	5/9（水）	脇町小学校 6年生	62名	火おこし・勾玉作り

6	5/15 (火)	川内北小学校 6年生	113名	教材・火おこし・石器づくり実演
7	5/18 (金)	藍住西小学校 6年生	110名	火おこし
8	5/24 (木)	郡里小学校 5・6年生	38名	ガイダンス・火おこし
9	5/31 (木)	山瀬小学校 6年生	46名	教材・勾玉作り
10	6/13 (水)	富田小学校 6年生	46名	教材・火おこし
11	6/20 (水)	加茂名南小学校 6年生	130名	教材
12	6/27 (水)	神山東中学校	11名	勾玉作り
13	7/13 (金)	富田小学校 6年生	46名	勾玉作り
14	11/17(土)	藍住北小学校	31名	勾玉作り
15	11/19(月)	西麻植小学校 4年生・保護者	36名	火おこし・勾玉作り
16	12/12(水)	三島小学校 4・5・6年生	17名	火おこし
17	1/17 (木)	板野東小学校 5年生	84名	史跡案内
18	1/23 (水)	神山東中学校 2・3年生	18名	火おこし
19	1/25 (金)	藍住北小学校 6年生	73名	勾玉作り
20	2/6 (水)	政友小学校 1～6年生	26名	勾玉作り・教材
21	2/23 (土)	美波町子ども会連合会	26名	火おこし・勾玉作り・歴史の話

(7) 教材等の貸出 15 回

No	利用団体	貸出日	返却日	利用人数	教材名
1	上八万小学校 6年	4/22	4/27	77名	移動実物教材セット
2	上八万中学校 1年	5/7	5/11	99名	移動実物教材セット
3	鳴門教育大学附属中学校 1年	5/15	5/23	159名	移動実物教材セット
4	川田小学校 6年	5/14	5/21	29名	移動実物教材セット
5	池田高校 1年～4年	5/8	5/12	31名	移動実物教材セット
6	上坂中学校 1年	5/28	6/6	97名	移動実物教材セット
7	池田高校	5/26	5/31	12名	火おこしセット
8	西庄小学校	6/2	6/4	15名	火おこし・勾玉
9	鳴門中学校	6/17	6/23	48名	移動実物教材セット
10	藍畑小学校 4～6年	6/25	7/4	126名	移動実物教材セット
11	山城中学校 1～3年	6/25	7/1	108名	移動実物教材セット
12	徳島文理高校 1年	7/4	7/7	150名	移動実物教材セット
13	井内小学校 6年	11/16	11/28	7名	移動実物教材セット
14	渋野小学校 6年	12/13	12/18	45名	須恵器杯身のみ
15	神山東中学校 2年	1/23	2/9	8名	火おこしセット



出張授業

4 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針（利用促進、サービスの向上、コストの削減、施設の適正な維持管理、地域への貢献・連携、安全管理、環境への配慮）に沿って、適切な管理運営業務を実施した。

(1) 基本方針

①利用促進、サービスの向上 考古学専門の学芸員および受付案内員、アルバイト職員によって、展示解説・体験学習指導・受付など来所者対応を行い、自主事業等を実施することで、来所者数増の促進に努めた。更に、管理運営に必要な知識と技術の取得のため、全国埋蔵文化財法人連絡協議会第1回指定管理者制度に関する連絡会議に出席した。

②コストの削減 担当職員の業務兼任、委託業務（植栽）競争入札の実施、企画展の看板やパンフレットなどの自主製作によって、コスト削減に努めた。

③施設の適正な維持管理 展示室の復元竪穴住居の燻蒸を実施し、虫害予防に努めた。

④地域への貢献・連携 臨時補助員及び土・日アルバイトは県内在住者を採用した。

⑤安全管理 事故など未然に防止するよう努め、不測の事態に備えて傷害保険に加入した。

⑥環境への配慮 土製品焼成体験では小規模な焼成システムを導入するなど、イベントの規模に合わせた方法を考案・実践し、古代体験学習と省エネルギー推進を両立させた。

(2) 対象施設の利用状況

- ・期間 平成19年4月1日（日）～平成20年3月31日（月）
- ・来所者数 8,218名

表

(3) 自主事業の収入の実績および管理運営経費等の収支の状況

- | | |
|------------|------------------------|
| ①自主事業収入 | なし |
| ②管理運営費収入状況 | 15,205,000円（県からの指定管理料） |
| ③管理運営費支出状況 | 15,205,000円 |

(4) 自主事業の実施状況

埋蔵文化財企画展「石斧の歴史を探る」

- ・実施期間 平成19年5月29日（火）～7月1日（日）
- ・来所者数 1,071名

いにしえ夢街道推進事業「アワコウコ楽連続公開講座」連動企画展示

- ・実施期間 平成19年9月14日（金）～10月7日（日）
- ・来所者数 515名

国民文化祭サテライト企画展「吉野川がはぐくんだ古代阿波の文化」

- ・実施期間 平成19年10月20日（金）～11月11日（日）
- ・来所者数 874名

・関連行事 古代体験まつり 平成19年10月28日(日)

・参加者数 194名

埋蔵文化財企画展「板野町・上板町・旧土成町の過去・現在」

・実施期間 平成19年12月15日(土)～平成20年1月13日(日)

・来所者数 306名

・関連行事 板野町史跡ウォーク 平成20年1月13日(日)

・参加者 21名

四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ」

・実施期間 平成20年2月1日(金)～3月23日(日)

・来所者数 985名

・関連行事 展示解説 平成20年2月3日(日) 参加者数 30名

古代体験1 平成20年3月2日(日)

ガラス玉づくり 参加者数 20名

古代体験2 平成20年3月16日(日)

ガラス玉づくり 参加者数 13名

毎日古代体験

実習室や体験テントを利用して、何時でもできる古代体験学習(勾玉づくり・火おこし・縄文ポシェットづくり)を行った。

・実施期間 平成19年4月1日(日)～平成20年3月31日(月)

・参加者数 1,552名

(5) 団体来館応対

団体来館

No	月日	午前・午後	利用団体	人数	内容
1	4/1(日)	午後	橿原考古学研究所友史会	140名	見学
2	5/10(木)	午前	晃安小学校 5年生	42名	勾玉作り
3	5/11(金)	午前	重清西小学校 6年生	17名	見学・火おこし
4	5/13(日)	午前	高志小学校 5年生・保護者	48名	ポシェット作り
5	5/29(火)	午後	学島小学校 4・5年生	61名	見学
6	6/3(日)	午後	和泉古代文化研究会	12名	見学
7	6/5(火)	午前	香南小学校 6年生	71名	見学
8	6/7(木)	午後	東アジアの古代文化を考える会	18名	見学
9	6/8(金)	午前	郡里小学校 3・4・5年生	51名	勾玉作り
10	6/9(土)	午後	川田小学校 4・5年生	43名	見学
11	6/9(土)	午後	鳴門教育大学大学院	10名	見学・火おこし・勾玉作り
12	6/15(金)	午前	板野西小学校 6年生	32名	見学・火おこし・勾玉作り
13	6/19(火)	午後	ふるさと講座	60名	見学
14	6/20(水)	午前	グループホーム・琴葉	17名	見学
15	6/24(日)	午前	高志小学校 4年生・保護者	44名	勾玉作り
16	6/30(土)	午後	徳島大学 1年生	3名	ガラス玉作り
17	7/26(木)	午前	なぜなぜ見学隊	11名	見学
18	7/26(木)	午後	板野町シルバー人材センター	7名	ガラス玉・勾玉作り
19	7/31(火)	午前	鳴門教育大学大学院 1年生	5名	見学

20	9/7(金)	午後	吉野川市山田公民館	23名	見学
21	9/18(火)	午後	板野阿シルバー人材センター	13名	ガラス玉・勾玉作り
22	10/12(金)	午前	高松市立増紙小学校 6年生	65名	見学・火おこし
23	10/16(火)	午前	阿波市社会福祉協議会	20名	見学
24	10/17(水)	午後	東かがわ市立登永小学校	35名	見学
25	10/19(金)	午後	久勝小学校 6年生	31名	火おこし・勾玉作り
26	10/24(水)	午前	板野阿ボランティア	30名	見学
27	10/25(木)	午後	鳴門市小教研社会科部会	15名	見学・火おこし
28	10/26(金)	午前	春秋会	27名	見学
29	10/28(日)	午前	アサンライブミュージアム	20名	見学
30	10/30(火)	午後	北井上小学校 6年生	50名	見学・火おこし
31	10/30(火)	午後	茨城県稲敷郡三浦村	2名	見学
32	11/5(水) ～8(木)	午後	グループホーム義満	60名	見学
33	11/7(水)	午前	川内中・加茂名中・城西中	16名	火おこし・勾玉作り
34	11/13(火)	午前	神宅小学校 6年生	36名	火おこし・勾玉作り
35	11/15(木)	午前	板野東小 5年生	84名	見学
36	11/18(日)	午後	北島町ジュニアリーダーズクラブ	16名	火おこし
37	11/21(水)	午後	大保小 6年生	23名	見学・勾玉作り
38	11/22(木)	午後	石井町のふる里の歴史を学ぶ	45名	見学
39	12/1(土)	午後	鳴門高校 2年生	12名	見学・勾玉作り
40	12/9(日)	午前	香川県観音寺考古会	15名	見学
41	1/20(日)	午後	古代王道をさぐる学習交流会	25名	見学
42	2/16(土)	午前	鳴門教育大学	15名	見学・勾玉作り
43	2/26(火)	午後	ハート・いたの	14名	ガラス玉・勾玉作り
44	2/29(金)	午前	板野養護学校	4名	火おこし・勾玉作り
45	3/1(土)	午前	伊島小学校	6名	見学
46	3/1(土)	午後	手話サークル「すだち会」	14名	ガラス玉・勾玉作り



火おこし体験



勾玉作り体験



縄文ポシット作り体験

5 発掘現場における普及啓発活動

(1) 現地説明会

平成19年度に発掘中の遺跡等の調査成果を広く県民に紹介した。

- ①名東遺跡（徳島市名東町）平成19年9月8日（土） 参加人数 200名
 内容：県内最古となる弥生時代中期後半の円形周溝墓が検出されたことなどの成果を公開し、説明した。
- ②南蔵本遺跡（徳島市南蔵本町）平成19年12月16日（日） 参加人数 150名
 内容：県内最古となる弥生時代前期前半の飾り弓が出土し、弥生時代後期から古墳時代初頭の集落

内では鍛冶・紡織・玉作などの生産関係の遺構・遺物が検出されているなどの成果があったことを公開し、説明した。

- ③南蔵本遺跡（徳島市南蔵本町）平成20年3月20日（木・祝）参加人数 80名
 内容：弥生時代前期前半の水利施設（堰）が検出され、徳島の水田経営の開始について興味深い成果があったことを公開し、説明した。

(2) 発掘調査成果の公表

- ①萩原2号墓（鳴門市大麻町）平成19年6月21日（木）報道発表

展示 6月23日（土）～7月1日（日）徳島県立埋蔵文化財総合センター展示室
 入館人数 240名

内容：平成18年度の調査により、主体部の構造が非常に特殊な積石木椁であることなど、3月の現地説明会以降に判明した内容を中心に公開し、報道発表するとともに、出土品等の展示及び展示解説を行った。

- ②下中筋遺跡（徳島市上八万町）

成果揭示 現地説明会の実施が困難であるため、平成19年度成果を、写真と解説を記した揭示板を作成し、発掘調査現場のフェンスに掲示した。

揭示日 平成20年3月7日（金）～3月28日（金）

内容：弥生時代中期の集落遺跡の竪穴住居跡や石器石材集積遺構等の概要について、揭示公開した。

- ③観音寺遺跡（徳島市国府町）平成20年4月18日（金）報道発表

展示 4月19日（土）～4月20日（日）徳島県立埋蔵文化財総合センター展示室
 入館人数 60名

内容：平成19年度の調査により出土した木簡や墨書土器、特に平安中期の「物忌札」を中心に公開し、報道発表するとともに、出土品・関連遺物等の展示及び展示解説を行った。

(3) 遺跡体験見学会

発掘調査の意義を説明し、遺跡の概要解説と体験発掘を行った。

開催場所 南庄遺跡（徳島市南庄町）平成19年8月22日（水）参加人数 42名

6 職員の対外活動

No	期日	内 容	参加者
1	4/1（日）	橿原考古学研究所友協会案内	藤川
2	4/3（火）	中世城館総合調査調査員委嘱	湯浅・藤川・早調・栗林・島田・片山
3	4/12（木）・13（金）	四国地区埋蔵文化財センター巡回展示及び協議	植地・島田
4	5/13（日）	徳島市考古資料館「企画展記念講演」	栗林
5	5/29（火）	「いにしえ夢街道」推進事業（交流促進事業）に係る市町村・関係機関連絡会	湯浅・藤川
6	6/9（土）	第25回郷土文化講座「発掘調査、いま～阿波の歴史をかきかえる～」	近藤
7	6/28（木）	「いにしえ夢街道」推進事業（交流促進事業）に係る市町村・関係機関連絡会	湯浅・藤川
8	7/7（土）	第25回郷土文化講座「発掘調査、いま～阿波の歴史をかきかえる～」	栗林
9	7/9（月）	いにしえ夢街道推進委員会第3部会	伊川・湯浅・三木
10	7/12（木）	美馬郷土博物館保管の鉄製品の保管環境に関する助言	植地
11	7/14（土）	考古学研究会岡山7月例会での研究発表	近藤
12	7/21（土）	第25回郷土文化講座「発掘調査、いま～阿波の歴史をかきかえる～」	藤川

13	7/24 (火)	アワコウコ楽スクールリーダー養成講座	三木
14	7/24 (火)	第14回阿波国分寺跡史跡整備策定委員会	伊川
15	7/24 (火)・25 (木)	四国地区埋蔵文化財センター巡回展示及び協議	氏家・植地
16	7/28 (土)	考古学入門講座(徳島市立考古資料館)	近藤
17	8/3 (金)	いにしえ夢街道推進委員会第1部会	伊川・湯浅・三木
18	8/9 (木)	「いにしえ夢街道」推進事業(交流促進事業)に係る市町村・関係機関連絡会	湯浅・藤川
19	9/6 (木)・7 (金)	全国埋蔵文化財法人連絡協議会コンピュータ等研究委員会中・四・九地区委員会	植地
20	9/8 (土)	第25回郷土文化講座「発掘調査、いま～阿波の歴史をかきかえる～」	大橋
21	9/11 (火)	「いにしえ夢街道」推進事業(交流促進事業)に係る市町村・関係機関連絡会	伊川・湯浅・三木
22	10/4 (木)	国文祭「吉野川文化探訪フェスティバル」美馬市会場実行委員会	伊川・藤川
23	10/11 (木)	国文祭市町村等担当者説明会	藤川
24	10/11 (木)・12 (金)	全国埋蔵文化財法人連絡協議会中国・四国・九地ブロック会議	湯浅・新居・氏家
25	10/13 (土)	考古学研究会岡山10月例会での発表	近藤
26	10/15 (月)	「いにしえ夢街道」推進事業(交流促進事業)に係る市町村・関係機関連絡会	湯浅・藤川・大北・中西・片山・島田
27	10/16 (火)	いにしえ夢街道推進委員会第4部会	伊川・湯浅・三木
28	11/7 (水)	「いにしえ夢街道」推進事業(交流促進事業)に係る市町村・関係機関連絡会	湯浅・藤川
29	11/22 (木)	中世城館総合調査連携調査分科会	湯浅・藤川・早河・栗林・島田・片山
30	11/27 (火)	電子国土普及のための講習会	植地
31	11/29 (木)	いにしえ夢街道推進委員会第2部会	伊川・湯浅
32	12/17 (月)	「いにしえ夢街道」推進事業(交流促進事業)に係る市町村・関係機関連絡会	湯浅・藤川・中西・片山
33	12/19 (水)	四国地区埋蔵文化財センター巡回展示実行委員会	植地
34	1/8 (火)	木簡の情報解説・発信・保存・活用に関するワークショップ	藤川・大北・植地
35	2/24 (日)	国府文化おこし委員会研修会	大橋
36	3/28 (金)	いにしえ夢街道推進委員会総会	伊川・湯浅・三木

7 ホームページ

財団法人徳島県埋蔵文化財センターホームページへのアクセス 22,946回

8 受贈図書数

1,743冊

9 本年度刊行物

○徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第69集

「井田遺跡 一般国道55号日和佐道路建設に伴う発掘調査報告」

○徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第70集

「寺山遺跡 広域基幹河川改修事業(國瀬川)関連埋蔵文化財発掘調査報告」

○徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第71集

「観音寺遺跡Ⅳ 道路改築事業(徳島環状線国府工区)関連埋蔵文化財発掘調査報告」

○徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第72集

「敷地遺跡Ⅰ 道路改築事業(徳島環状線国府工区)関連埋蔵文化財発掘調査報告」

○徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第73集

「トノ町遺跡 阿南警察署庁舎改築工事関連埋蔵文化財発掘調査報告」

○徳島県埋蔵文化財センター調査概報 第4集

「敷地遺跡Ⅱ 道路改築事業(徳島環状線国府工区)関連埋蔵文化財発掘調査概報」

徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol. 19

—平成 19(2007) 年度—

平成 20 年 10 月 30 日

編集・発行 財団法人徳島県埋蔵文化財センター

〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番 2

TEL (088)672-4545 FAX (088)672-4550

HP <http://www.tokushima-maibun.net> E-mail awapac@jt6.so-net.ne.jp

印刷 (株) 教育出版センター

〒771-0138 徳島県徳島市川内町平石流通団地 27 番地

TEL (088)665-6060 FAX (088)665-6080